

## 七尾市農地利用最適化推進委員の推薦・応募状況

令和8年3月2日 現在

受付番号	区分	推薦または応募する区域	候補者							推薦者							
			ふりがな氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営状況	認定農業者の該当・非該当	農業委員への推薦等状況	団体名または個人名	目的(事業内容)または職業	役職名代表者名	構成人数または性別	構成員たる資格、推薦をする者の特徴	推薦(応募)理由	
1	個人推薦	第3区域	あらき しげお 荒木 茂夫	会社役員	66	男	—	営農年数	22	非該当	なし	深見生産組合	農地、農道、水路の管理	組合長 後藤 長實	34	地域の農業者が中心となって、地域の農業・農地を守るとともに、集落の農業・生活の維持・発展に取り組む。	多面的や中山間地域等直払等の事務担当としており、深見地区の農地を守るため、生産組合員と共に冬場を除き日々活動している。自分の農地の耕作はもとより地区の遊休農地、農道、水路、法面の除草作業や補修整備などに積極的に参加している。
	営農類型							水稻									
	耕作面積(a)							274									
2	個人推薦	第4区域	ばんしゅう たけし 番匠 武志	兼業農家	57	男	・中山間等直払制度代表(R7.4.1~)	営農年数	26	非該当	なし	谷内町会	住民の相互の連絡や生活環境の維持など各種活動を行う。	町会長 関塚 良和	37	住民がともに助けあって、生活環境の維持などの活動を行い、住みよい地域を保つ。	長年にわたり地域農業の振興と農地保全に尽力し、現在は中山間地域等直払の代表として地域のまとめ役を務めている。中山間地域特有の担い手不足や高齢化、耕作放棄地の増加などの課題について深い理解を有し、地域農業者との信頼関係を築きながら、農地の集積・集約化および適正利用の推進に積極的に取り組んでこられた。また、地域内の合意形成においても公平・公正な立場で調整役をされ、その誠実な人柄と責任感は多くの農業者から厚い信頼を得ている。
	営農類型							水稻									
	耕作面積(a)							79									
3	個人推薦	第2区域	いず りょういち 伊豆 良一	農業	72	男	・農地利用最適化推進委員(H29.8.1~3期目) ・農業生産組合長(R2.3.1~R8.2.28)	営農年数	40	非該当	なし	大泊町中山間事業組合	農地保全、農道水路の管理	代表 端 幸晴	21	地区住民等が共同作業などによって、農業生産条件が不利な中山間地域等の農地等の保全を図る。	農業従事者であり、専業農家である。町内においても当組合においても、経営は大規模であり中心的存在である。当組合では副組合長を務めており、リーダー的存在であり信用も厚い。また、過去には地域の農業協同組合や農業法人にも長く勤め、地域の状況や農地の状況についても深く理解している。
	営農類型							水稻									
	耕作面積(a)							170									
4	個人推薦	第3区域	かわもり こうじ 川森 浩治	自営業	68	男	・川尻保全会 会長(R5.4.1~)	営農年数	43	非該当	なし	新垣生産組合	農業に係る生産組合	組合長 林 義男	20	地域及び周辺地域の農業者へ農業活動を支援する組合	川尻地区で中心的な存在として農業経営をしており、農業に幅広い知識を有しています。また、環境保全活動に従事し、さらに地元農業者の信頼も厚いことから、農地の利用最適化等、農業委員会業務に大きく貢献できると考え推薦します。
	営農類型							水稻									
	耕作面積(a)							160									
5	個人推薦	第2区域	ほり よしひろ 堀 義博	農業	68	男	—	営農年数	31	非該当	なし	飯田 保	農業	—	男	—	地域の農家の中心として、取りまとめが出来る人材である。耕作放棄地を把握し、担い手や後継者の育成に尽力している。狩猟免許を取得し、獣害対策にも積極的に取り組んでいる。
	営農類型							水稻	村田 修一			農業	—	男			
	耕作面積(a)							170	浦部 隆博			会社員	—	男			
6	個人推薦	第2区域	いわみ のぶひで 岩見 信秀	農業	76	男	・農地利用最適化推進委員(R2.8.1~2期目) ・殿中山間地集落事業役員(H12.4.1~H17.3.31) 代表(H28.4.1~R2.3.31) ・殿町会長(H28.4.1~R2.3.31)	営農年数	47	非該当	なし	須崎 昭夫	農業	—	男	—	東湊地域は、平坦部から山間部と広域な区域を有しており、地理的に詳しくなければならぬと同時に地域に応じた推進活動を農業委員と連携し、地域の実態に即して推進を行うことが求められる。殿中山間地集落事業の導入時の取りまとめや殿町会長、また令和2年8月から農地利用最適化推進委員を務め、地域全域にわたり地理的及び実状に精通しており農地利用の最適化の取り組みにも積極的な熟慮を兼ね備えている。
	営農類型							水稻、露地野菜	長井 惣亮			農業	—	男			
	耕作面積(a)							30	黒土 政徳			農業	—	男			